

山北中学校のきまり

1. 服装

○制服

- 学校指定の制服を着る。スラックスかスカートかは自分で選択する。
- ピンつきの名札を付ける。紛失、壊れた等で必要なときは担任または生徒指導担当の先生に用紙をもらって注文する。(2枚1セット 1,000円、1枚 580円)
- 制服の下にYシャツ、ブラウスを着用する。
- ネクタイ、またはリボンを着用する。紛失、壊れた場合は、各自で購入する(制服購入先業者で、なお、修理は不可)。
- スラックスの場合はベルトを着用する(黒、紺、茶色系のもの)。
- スカートの丈は、膝が出ない長さにする。
- 衛生上、下着(白または灰色の肌着)を着用することが望ましい。学校指定の半袖シャツも可。

○靴下

- 白、黒、紺色の靴下を自分で選択する。
- 式典のときは、くるぶしがでない長さの靴下を着用する。

○体操着

- 学校指定の体操着を着る。
 - 半袖、ハーフパンツになる場合は学校指定の半袖シャツ、ハーフパンツを着用する。部活動のものは不可。
- 靴下は、白、黒、紺色の靴下を自分で選択する。
- 腰パン、シャツ出しはしない。
- 袖口等のほころび、穴は直す。
- 胸のファスナーを下げるときは、胸のマークの上部までとする。
- 腕をまくらなければならぬほど暑いときは、上着を脱ぐ。

○内履き、外履き

- 内履き、外履きともに学校指定のもの使用する。必ずタンの部分に記名する。

○登下校は必ず制服

- 1限後に体操着に着替える。
- テスト日や指示のあった場合は制服のままでよい。
- 指示があった場合は体操着で登下校可。

○衣替えについて

- 原則、6月1日、10月1日から衣替えであるが、天候を考え、自分で服装を調整する。

○その他

- 式典や学校行事の時は、原則として全生徒共通の服装とする。

2. かばん

- 学校指定の青かばんを使用し、特に連絡、指定のないときは、青かばんで登校する。

3. 冬季における防寒着等について

- アウターの防寒着を着用してもよい。登下校及び校内で指示があった場合。
- Yシャツ、ブラウスの下に無地で黒、灰色、紺、茶、白色系のアンダーシャツを着用してよい。
- Yシャツ、ブラウスの上に無地で黒、灰色、紺、茶、白色系のセーターやカーディガンを着用してよい。ただし、その際は袖と裾がでないようにする。
- 体操着の下に無地で黒、灰色、紺、茶、白色系の長袖Tシャツやトレーナーを着用してよい。ただし、その際は袖と裾がでないようにする。
- スカートの場合は防寒用に黒のタイツを着用してもよい。
- 寒い場合は、授業中に膝掛けを使用してもよい。ただし、教科担任の指示に従い、膝掛け使用のルールを守る。

4. 頭髪

- 清潔感のある頭髪にすること。
- 染色、脱色はしない。
- 整髪料などは付けない。
- 髪が長い場合（肩にかかる、前髪が目隠れる）は、黒、紺、茶のゴムやピンで止める。

5. 登下校

- 時間を守る。登校は8：10まで、下校は17：30を厳守する。
- 定められた通学路を通り、どこかに立ち寄ることはしない。

○徒歩通学について

- 特別な場合を除き7：30前に学校に登校しない。

○バス通学について

- 乗車、降車のときには、必ず運転手さんにしっかりと挨拶をする。
- バスを待たせることはしない。
- バス内では決められた自分の座席に座る。
- 不要物の持ち込みなどはしない。
- 用事で下校バスに乗らない場合は、朝の内に学級担任の先生に申し出る。
- バスが動いている間は、立ち上がりず座っている。
- シートベルトは必ず着用する。

6. クロームブックの使用

- クロームブックの使用規定を守る。

7. 校内生活

○『山北中にいる全員が安心・安全な毎日を過ごせるようにする。』

- 他人に迷惑をかける言動、行動は絶対にしない。
- 原則としてベランダには出ない。
- 原則として必要がない場合は、更衣室（CR及びB教室）には立ち入らない。
- 校舎や校内の設備は大切に扱う。破損してしまった場合は必ず自分から届け出ること。
（破損者→学級担任→教頭）
- 不要物の持ち込みはしない。

○『学習や諸活動を最後までやり遂げ、自分を高める。』

- 山北中はノーチャイムなので、時計を見て行動すること。
- 授業の決まりを守ること。
- 山北中学校のきまりを守ること。
- 部活は安易に休まないこと。

8. その他

- 感染症対策を意識した生活の実践。
- 水筒の通年持参。